

のへじ



議会だより



《受け継ぐ燈火 つなぐ未来》 広報キッズ「にーなちゃん」



野辺地町
ホームページ
(野辺地町議会)

PART
1

決算は「まちづくりの通信簿」

決算から未来を望む 私の提言

2

PART
2

町民の声を背に

一般質問という名の政策提案

6～10

PART
3

議会がより町民のために役立つ存在に

議会・議員とは…調査なくして発言なし 12

■発行 野辺地町議会

■編集 広報委員会 〒039-3131 青森県上北郡野辺地町字野辺地123番地1 TEL0175-64-2111(代表)

野辺地町ホームページアドレス

～ 未来につなげる幸せのまち のへじ ～

<https://www.town.noheji.aomori.jp>

検索

決算は「まちづくりの通信簿」

決算から未来を望む 私の提言



岡山義廣議長

議員の多様な視点から
町政を考えます！

令和7年度の1年間、事業の進捗を注視してきたなかで迎えた決算。決算は、これまでの町の取組を振り返るだけでなく、これからのまちづくりを考える手がかりに。議員の視点を通して、町の今とこれからを考えてみる。

地元に働き暮らし続けられる町へ

横浜睦成議員

決算に賛成 **85点**

「野辺地町で暮らしたい」と思ってもらえることは大きな魅力に。満足度1位を目指す取組に期待！

地域産業と暮らしを守る支援を

古林輝信議員

決算に賛成 **80点**

ホタテ養殖漁業者が生産を続けられるよう支援の充実に期待。鳥獣から農業や町民の暮らしを守るため、地域や関係機関と連携した対策を。

多様な視点を活かす町政へ

高沢陽子議員

決算に賛成 **90点**

ふるさと納税の充実で、魅力発信と地域経済の活性化を進め、財政を支える新たな事業に期待！

成果が見える町政へ

中谷謙一議員

決算に賛成 **70点**

予算の着実な執行は評価。将来の人口減少や地域産業などの課題を見据え、必要な分野への重点投資を。

町民の声を形にする

木戸忠勝議員

決算に賛成 **80点**

お金を使ったかだけでなく、その結果、町民にどのような効果があったのかが重要。今後の事業改善につなげることを期待！

誰もが安心して暮らせる福祉の充実を

野坂充議員

決算に賛成 **60点**

公共施設の改修や更新には多額の費用が必要となるため、優先順位を明確にし、将来の財政負担を見据えた計画的な施設整備を！

防災・除雪体制のさらなる充実

村中玲子議員

決算に賛成 **80点**

高齢者や障がいのある方など、避難に支援が必要な方を地域で支えられる自主防災組織活動の充実を。誰一人取り残さない体制の構築を。

成果と検証を見える町政へ

大湊敏行議員

決算に賛成 **75点**

予算が適正に使われたかの確認は重要だが、どう成果が得られ、町民の暮らしにどのような効果があったかを検証することも必要。

限りある財源のために暮らしを

五十嵐勝弘議員

決算に賛成 **55点**

一般会計の予算執行率が低下した要因を検証し、事業の着実な実施と、より効果的な予算執行につなげてほしい。

将来を見据えた持続可能な財政運営を

赤垣義憲議員

決算に賛成 **50点**

限りある財源を有効に活用するため、事業の必要性や効果を丁寧に検証し、効果が低い事業や重複する支出は見直す必要がある。

民意を反映したまちづくりを

戸澤栄議員

決算に賛成 **80点**

住民の声を丁寧に聴き、多様な民意を町政に反映させることが、議会と行政の重要な役割。住民目線に立った、開かれた町政の実現を期待！

あわせて見たい！
読みたい！！



令和7年度決算の詳細は、
「広報のへじ10月号」を
ご覧ください。

令和8年第5回9
月定例会において、令
和7年度決算を全会
一致で認定しました。
議員の平均年齢は
69.3歳（令和8年度）
で、主に団塊やバブル
世代。
そこで、議会に無い
視点「Z」「アルファ」
世代の方なら、どう町
のお金を使うのか？
多様性・社会問題
への関心が高く、タイ
パ重視の世代は、野辺
地町をどう見ている
のか？



※Z世代…14歳～30歳前後が該当。デジタルネイティブ。コスパ・タイパ重視。多様性などへの関心が高いと言われている。
※α世代…0～16歳前後が該当。真のデジタルネイティブ。情報は効率よく必要のあるもの。体験や共感を重視すると言われている。

あなたなら、何を優先しますか？ 世代を超えて考える町の未来

総額 76億1515万円 町民1人あたり 66万4962円

※金額の表記（四捨五入） 決算額・・・万円 1人あたり・・・円



※令和8年3月31日時点の
人口1万1452人で計算



町民1人あたりの
借金
56万3696円

1人あたりの負担額に
置き換えると町のお金の
使い道が少し身近に

町のZ・α世代
30人に聴きました！

Q1. 今後、最も重点的にお金を
使うべき分野は？

- 第1位 子育て・教育
- 第2位 医療・健康
- 第3位 産業・雇用

Q2. お金が不足したら、どうすべき？

- 「既存事業の見直し」無駄使いをなくす。基金活用を。
- 「新たな収入源」ふるさと納税。国や県に助けを。実現性は低い。
- 「公共施設の集約」複合や廃止も。

Q3. 10年後の町に残したいものは？

- 「若者が住み続け安心して暮らせる」教育環境、防災、商業・飲食環境
- 「自然・産業・歴史を活かす」漁業、海、愛宕公園、スキー場
- 「スポーツと伝統文化が息づく」のへじ祇園まつり、スポーツ人口増

Z・α世代が誕生した頃と比較 ～20年の変化～

（平成17年度決算）

町の人口1万5921人
総額50億4408万円
町民1人あたりに使ったお金31万1572円



（令和7年度決算）

町の人口1万1452人
総額76億1515万円
町民1人あたりに使ったお金66万4962円

今回の比較では、立場や世代によって優先順位に違いがある一方、町の将来をより良くしたいという想いは共通していました。議会では、決算で明らかになった成果や課題に加え、若い世代を含む多様な町民の声を今後の審議に活かしていきます。

忙しい
皆さまに

ほぼ一瞬でわかる 審議議案と賛否

令和8年第5回9月定例会

令和7年度決算

一般会計

歳入78億2037万円余り
歳出76億1514万円余り

国民健康保険事業特別会計

歳入13億1913万円余り
歳出12億8328万円余り

後期高齢者医療特別会計

歳入2億2306万円余り
歳出2億1837万円余り

介護保険事業特別会計

歳入17億6849万円余り
歳出16億3431万円余り

下水道事業特別会計

歳入2887万円余り
歳出2887万円余り

水道事業特別会計

収益的収支
収入2億6426万円余り
支出2億6415万円余り
資本的収支
収入4831万円余り
支出1億6585万円余り

認定

報告

物損事故に係る損害賠償についての和解

—

議会（委員会）

町議会議事規則の全部改正

提出：議会運営委員会

法律の改正に伴う議会手続のオンライン化に対応した改正を行い、社会情勢等に照らし所要の整備を行うもの。

町議会委員会条例の全部改正

提出：議会運営委員会

法律の改正に伴う議会手続のオンライン化に対応した改正を行い、社会情勢等に照らし所要の整備を行うもの。

全員
賛成

令和8年度補正予算

一般会計補正予算（3回目）

1億6200万円増 総額85億7300万円
令和7年度決算額の確定や、除排雪対策費等の増額による。

国民健康保険事業特別会計補正予算（2回目）

3584万円余り増 総額14億4141万円余り
令和7年度決算額の確定等による。

後期高齢者医療特別会計補正予算（2回目）

487万円余り増 総額2億4337万円余り
令和7年度決算額の確定等による。

介護保険事業特別会計補正予算（2回目）

1億3987万円余り増 総額18億2037万円余り
令和7年度決算額の確定等による。

水道事業特別会計補正予算（3回目）

資本的支出
566万円余り増 予定額1億4370万円
用地取得や検針用車両の更新による。全員
賛成

条例制定・改正

条例の左横書きに関する特別措置条例の制定
公布される条例等を左横書きに改めるもの。地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係
条例の整理

法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

医療法等の一部を改正する法律に施行に伴う関係条
例の整理

法律の改正に伴い、所要の改正を行うもの。

認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例の一部
改正

省令の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

委員会委員等特別職の報酬及び費用弁償に関する条
例の一部改正

各種委員の報酬額等を改めるもの。

重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

政令等の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

財産区議会設置条例の一部改正

法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

全員
賛成

その他

避難所用備品等の取得

取得価格 1155万円

相手方 有限会社城栄産業青森営業所

全員
賛成

人事

教育委員会教育長の任命

小野淳美氏を再任するもの。

教育委員会委員の任命

亀田小織氏を再任するもの。

同意



聴く！見る！考える！つなげる！議会
“町民”の声をひろいあげます！

一般質問で政策提案 町民の声を背に

町のさまざまな課題等について、町に方針等を聞くのが「一般質問」。9月定例会では5名の議員が登壇し、町政への質問や提言を行いました。ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。詳細は会議録をご覧ください。

(12月上旬公開予定)



- 1 防災体制の強化と避難所の改善を
- 2 消費者教育・金融教育の充実を
- 3 学校図書室をもっと魅力的に

村中玲子議員 P 6

- 1 ふるさと納税の実績向上を
- 2 想定外災害への備えを
- 3 憩いの湯の利用促進を

木戸忠勝議員 P 7

- 1 防災DXで命を守る

中谷謙一議員 P 8

- 1 町有バスの休日利用で活動支援を
- 2 鳥獣被害の対策強化を

赤垣義憲議員 P 9

- 1 証明書のコンビニ交付を
- 2 見やすいホームページへ刷新を
- 3 郷土芸能の継承支援を

大湊敏行議員 P 10

一般質問は登壇順に
こちらから



熱気再来

議場燃ゆ

討
論

反 対

賛 成

赤垣義憲議員
「将来の選択肢を検討」

小中一貫教育への移行や、既存の中学校校舎の活用など、将来を見据えた選択肢を。新庁舎建設後の地方債償還に加え、他の施設にも投資が必要となる中、優先順位を考えるべき。

大湊敏行議員
「教育環境を守る契約」

子育て世代の定住や移住につなげる将来への投資に。

木戸忠勝議員
「危険校舎の早期建設」

危険と判定された校舎の建設を速やかに。

忙しい
皆さまに

ほぼ一瞬でわかる

審議議案と賛否

令和8年第4回7月臨時会

専決処分	
令和7年度一般財団法人野辺地町観光協会事業報告及び決算	—
令和8年度補正予算	
一般会計補正予算（2回目） 700万円増 総額84億1100万円 水道基本料金減免に係る経費を追加し、統合小学校建設工事の事業費調整を行うもの。	賛成 多数可決
（賛成） 横浜議員、高沢議員、木戸議員、 村中議員、五十嵐議員、戸澤議員、 古林議員、大湊議員	
（反対） 中谷議員、野坂議員、赤垣議員	
水道事業特別会計補正予算（2回目） 収益的収支 100万円増 既決予定額2億8100万円 水道基本料金減免事業の実施によるもの。	全員 賛成可決
その他	
消防団員雨衣の取得 取得価格 792万円 相手方 有限会社青森消防設備	全員 賛成可決
野辺地小学校改築工事の契約 請負代金 50億8200万円 相手方 福萬・岡山特定建設工事共同企業体	賛成 多数可決
（賛成） 横浜議員、高沢議員、木戸議員、 村中議員、五十嵐議員、戸澤議員、 古林議員、大湊議員	
（反対） 中谷議員、野坂議員、赤垣議員	



防災体制の強化と避難所の改善を

備えを強化し導入を検討する(町長)

問 災害時のトイレ確保や備蓄品の保管・輸送体制は。

学校等で平時から使用し、災害時には避難所用品として活用するフェーズフリー備品の導入を。

町長 簡易トイレや非常用トイレ袋を備蓄し、災害時は各避難所へ搬送して活用する。トイレ袋は計画的な確保に努め、トイレカーは補助制度や導入事例を参考に検討する。備蓄品は3か所に保管

し、発災直後に必要な物資の確保と円滑な輸送に取り組む。フェーズフリー製品は、耐久性や管理・訓練・検証などの課題を踏まえ、現場の考えも聞きながら導入を検討する。

消費者教育・金融教育の充実を

広報啓発を一層強化する(町長)

問 消費者・金融教育や特殊詐欺、投資詐欺などの被害防止の取組を。

年代ごとのライフプラン講座や、専門家等と連携した教育・啓発の充実を。

町長 小中学校では、家庭科や社会科などを通じ、計画的な金銭管理や消費者を守る制度を学ぶ教育を行っている。町は上十三地域5市町村で三沢市消費生活センターを設置し、相談体制を整備している。特殊詐欺対策は県・

警察・防犯協会・社会福祉協議会と連携して啓発を実施。相談件数の増加を踏まえ、今後は幅広い世代への広報・啓発を強化する。



学校図書室をもっと魅力的に

魅力ある図書室づくりに努める(教育長)



問 学校図書室へ複数の新聞配備の検討を。図書費の推移と増額の考えは。新しい本や多様な情報に触れ、自ら学び考える図書室づくりを。

教育長 1つの新聞を活用し、情報活用能力の育成に努めることも重要だと考えている。中学校では新聞を活用したNIE教育を継続し、情報活用能力の育成を進める。図書費は必要な図書を開き取り、統合を見据えて予算計上を検討する。統合小学校では、多様な読書空間を整備し、蔵書の更新を進め、魅力ある図書室づくりに努める。

私の届いてほしい思い..
資産形成支援として、若い世代から高齢者まで、誰もが安心して学べる中立的な金融・消費者教育の場を検討してほしいです。



むらなか あきこ 議員
村中 玲子



ふるさと納税の実績向上を

返礼品と発信力を強化する（町長）

問 寄附額が県内最下位となっている要因は。「野辺地葉つきこかぶ」の返礼品実績は。返礼品の充実や情報発信、実績向上に向けた体制強化を。

町長 寄附額が低い要因は、返礼品の構成・規格や情報発信が寄附獲得に十分結び付いていないと分析している。

野辺地葉つきこかぶは、首都圏でのトップセールスやイベントでのPRを進

想定外災害への備えを

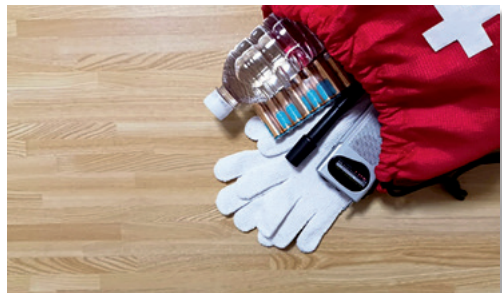
防災支援を慎重に検討する（町長）



問 想定外の災害に備え、防災リュック購入への助成制度の創設を。あわせて、福祉避難所の協定締結状況と、避難所確保に向けた取組を。

事業規模が変わるため、先進自治体の制度設計を検証し、町に適した制度を慎重に検討する。

福祉避難所は2施設と協定を締結し、さらに2施設との締結事務を進め、適切な避難所の確保にも努める。



憩いの湯の利用促進を

地域に応じた入浴支援に（町長）

問 有戸地区はまなすふれあいセンターについて、有戸地区以外の高齢者も利用できるよう、「老人憩いの湯」への送迎バス運行を。

高齢者用健康器具「あしふみ健康ライフ」の設置と効果検証を。

町長 老人憩いの湯の送迎は、対象地区外の利用実績や運転手不足、費用面から持続的な運行は困難とし、既存の福祉サービスを案内するなど、地域の実情に応じた対応を図っている。

健康器具の設置ではなく、現在の取組を基に効果的な介護予防の充実を図っていく。



私の届いてほしい思い..
想定外災害に備える町民向け防災リュック購入助成制度の創設が必要だと思います。



きどただかつ
木戸 忠勝 議員



防災DXで命を守る

防災DX連携を検討する（町長）

問 防災行政無線など、現在の災害情報伝達手段の有効性をどう評価しているか。

町長 防災行政無線、ホームページ、フェイスブック、LINE、緊急速報メール、アラート、広報のへじ、巡回広報などを災害時の情報伝達手段として運用している。これらを効果的に活用することで、相応の有効性は確保している。一方で、スマートフォンなどの情報端末を持たない、または利用が難しい住民への代替策には、なお検討の余地がある。

問 DXの取組と防災対策を連携させ、災害情報を一元的かつ迅速に発信する仕組みの構築を。

町長 DX推進と防災対策の連携は重要な課題と位置付けている。今後、防災行政無線設備の更新時期に合わせて、防災アプリや関連機器の導入を検討し、災害情報を一元的かつ迅速に発信できる仕組みの構築を研究する。

問 デジタル機器の利用が難しい高齢者などにも確実に情報を届けるため、多重的な情報伝達体制の強化を。

町長 デジタル手段の利用が困難な人への対応は、防災対策上の重要な課題である。災害時には既存の情報伝達手段を活用するとともに、自治会や民生委員との連携、消防団・自治会等による戸別訪問など、直接的な情報伝達も必要である。



私の届いてほしい思い..
今後、災害情報を確実に町民へ届ける防災DXの完成を。



問 防災DXを防災対策の重要な柱に位置付け、迅速・確実な情報伝達と、誰一人取り残さない避難体制の構築を。

町長 災害情報を迅速かつ確実に伝え、誰一人取り残さない避難体制をつくることは、町の防災対策における重要な課題である。今年度の防災行政無線子局の増設による難聴地区の解消や、防災情報を伝えやすいホームページへの再構築を



進め、防災行政無線の更新も含めた防災DXの推進に取り組む。

WHAT?!

なかや けんいち
中谷 謙一 議員

11 住み続けられるまちづくりを



町有バスの休日利用で活動支援を

休日利用拡大は見送る（町長）

問 町有バスが平日に限られているため、自治会や各種団体が休日に研修・交流事業を行いにくい現状である。休日利用が可能になれば、地域活動や世代間交流の広がりが期待できる。運転手の確保、時間外勤務、車両管理、事故対応などを整理した上で、休日利用の検討を。

町長 町有バスの利用を規程により原則として、平日の勤務時間内に限っている。白ナンバーの自家用車であることによる法的制約や、運転・管理面の実務的課題が多いので、現時点で休日利用へ運用を見直すことは考えていない。一方、民間貸切バスの利用に対する助成など、団体の負担軽減策は、具体的な要望があれば検討する。

11 住み続けられるまちづくりを



鳥獣被害の対策強化を

講習会で防除を強化する（町長）

私の届いてほしい思い..
どうすれば課題をクリアにできるのか、それが課題..

問 熊の出没による人身被害や農作物被害、住宅地などでの出没への不安を踏まえ、鳥獣被害対策の強化を。平時から、町の対応体制や緊急銃猟の仕組み、住民が取るべき行動を説明する講習会の開催を。緊急時を想定した関係機関との訓練、農作物被害の予防策、被害を受けた農業者への支援・補償、再発防止策を。

町長 熊など鳥獣の出没増加を踏まえ、住民が基礎知識や対応方法、防除知識を身に付けることが重要である。

地域おこし協力隊2人と連携し、鳥獣の知識、緊急銃猟制度、住民が行う被害防除を周知する講習会を計画している。

緊急銃猟では、各課の役割や連絡体制を定めたマニュアルを作成し、今後は机上・実地訓練を実施

する予定である。

農作物被害には、防止機材の購入や農業収入保険を支援対象とし、生産者の声を聞きながら被害前の防除を中心に体制強化を進める。

熊が目撃されています！



注意！危険です！

発見したらすぐに連絡を！



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員

3 すべての人に健康と福祉を



証明書のコンビニ交付を

令和9年度の実施を目指す(町長)

問 窓口へ行かず土日祝日を含めて証明書を取得できるコンビニ交付について、導入準備の進捗と令和9年度の開始時期は。導入・維持費や情報管理体制などの課題も踏まえ、町民の利便性向上につながる取組を。

町長 令和9年度のサービス開始方針に基づき、証明書の種類や導入経費、財源を協議中である。提供開始の具体的な時期は、事業者との協議や情報管理体制の整備後に判断する。



11 住み続けられるまちづくりを



見やすいホームページへ刷新を

誰もが使いやすいホームページに(町長)

問 情報の探しにくさやスマートフォンでの見やすさ、更新体制など現行ホームページの課題がある。刷新による改善内容、町民・利用者の意見を反映する機会、公開時期についての見解は。

町長 情報を探しにくいこと、スマートフォンで見づらいこと、更新・管理がしにくいことが課題である。

刷新後は、高齢者や障がいのある方も配慮し、必要な情報を探しやすいホームページを目指す。

町民意見の募集は予定せず、令和9年3月中旬の公開を予定している。

郷土芸能の継承支援を

魅力向上と人材育成に努める(教育長)

私の届いてほしい思い..文化祭の巡回バスについて、初回答弁では消極的見解でしたが、再質問で再考する答弁をいただきました。引き続き頑張ります。



おおみなと としゆき 議員
大湊 敏行

問 人口減少や担い手の高齢化が進む中、郷土芸能の継承には発表と鑑賞の機会を充実させる必要がある。

討する機会を設ける鑑賞者の移動は過去の文化祭において、利用者少数により巡回バスをやめた経緯がある。

会場までの移動手段の確保や、芸能を記録・共有するデジタルアーカイブの整備を。

教育長 文化祭や各団体からの依頼を通じて郷土芸能の発表機会を設けている。

出演者の移動は、町と文化振興協議会によるバス手配を検

委員会レポート

町の課題を調査・研究しています

野辺地町議会では、2つの常任委員会を設置しています。議員は、「総務」「建設産業保健衛生」のどちらかの常任委員会に所属することになっています。常任委員会は、町の課題や施策、事業について、所管の調査を行っています。特別委員会は、町政のほか特定の案件についても、調査を行い、目的が達成されると調査終了となります。これら委員会は、少人数で構成され、足取りも軽やかに調査研究することができます。

町民の声の具体化へ

町民との意見交換会で寄せられた、町の活性化に関する24項目の提案について、事実確認や課題調査、具体策の検討を進めています。移住・定住支援の拡充、空き家バンクの活用や解体補助の要件緩和、デマンド交通の導入を重点的に調査しています。このほか、郷土芸能の継承、公共施設や学習環境、公園遊具、公衆浴場、情報発信、若者のニーズ調査なども検討し、実現可能性を踏まえて提言にまとめます。



総務常任委員会

委員長 村中 玲子

実現可能に向けた検討を

町民との意見交換会で寄せられた町の活性化に関する10項目を調査・協議しました。クマの飼育・展示施設、ジビエ料理、林道の有効活用、スキー場への植栽は、施設基準や経費、安全面、処理頭数の確保、土地の契約条件などから実現が困難と判断し、調査終了を検討します。一方、葉つきこかぶの収穫体験・PR、郷土文化の発信、新産業、景観整備、養殖漁業、林業振興は、引き続き具体策を調査します。

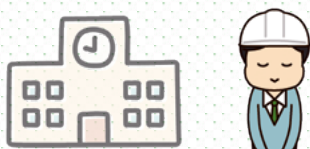


建設産業保健衛生常任委員会

委員長 木戸 忠勝

統合小学校建設の進捗を確認

工事費と今後のスケジュールについて説明を受けました。基本設計時の想定事業費約52億7千万円から見直しを行い、予定価格を51億3810万円と設定。入札の結果、50億8200万円で契約を締結しました。校舎は防水工事費などの増額と設備工事費の減額、児童館は仕様の具体化により増額となりました。翌年2月に進捗を確認し、令和9年3月定例会には次年度の工事監理委託料などが提出される予定です。



統合小学校新築事業調査特別委員会

委員長 大湊 敏行

議会運営のデジタル化を目指して

議会への導入を予定しているタブレット端末について、必要な機能・仕様や導入スケジュールを検討しました。議案・資料の電子化、情報共有の迅速化、ペーパーレス化に加え、オンライン手続やオンライン委員会の実施も期待されます。そのための関係例規の整備も進めます。今後は、情報セキュリティと運用ルールに配慮し、議会運営の効率化と利便性向上に向けて準備を進めます。



議会改革検討特別委員会

委員長 赤垣 義憲

議会がより町民のために役立つ存在に ～議会・議員とは…調査なくして発言なし～

野辺地町議会の議会改革アドバイザーを務める岩崎弘宜氏を講師にお迎えし、研修を行いました。議員それぞれが誰のための政治か？との原点に立ち返りました。

Act 1 学生との対話事業

未来ある若者世代のために、共に野辺地町をよりよい素晴らしい町にしていくのか？そのためには、議員が今まで以上にもっと汗をかく決意をもって、臨む必要がある。

Act 2 議員・議会とは

1人でも多くの住民が幸せになっていただくため、原点を確認し、改める。

Act 3 政策提言質問に向けた議員力向上

住民のために、「無理」など否定から入らず、どうしたらできるか？どうしたらミッションを達成できるか？そして、今まで以上にもっと汗をかく。



全員協議会



感染症への備えをアップデート

各種委員の報酬額について、近隣町村との水準に差が生じていることから、郡内町村の状況を参考に適正化を図るもの。あわせて、現在の半日当制についても見直します。また、新型インフルエンザ等対策行動計画を改定します。平成26年策定の現行計画を、新型コロナウイルス感染症の経験や、国・県の行動計画改定を踏まえて見直し、次の感染症危機に備えた体制を整えます。改定計画は、法の規定に基づき議会へ報告し、公表されます。

特集

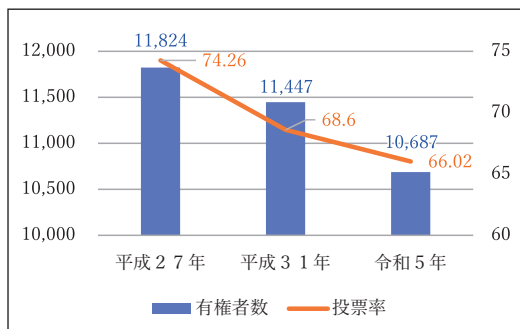
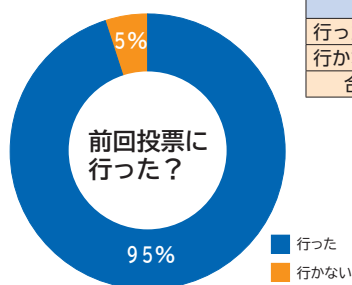
2027町議選 選挙それは町の未来選び



広報委員による
アンケート取材!



野辺地町議選 投票率66.02%



「投票は町民に与えられた大切な権利・責任」

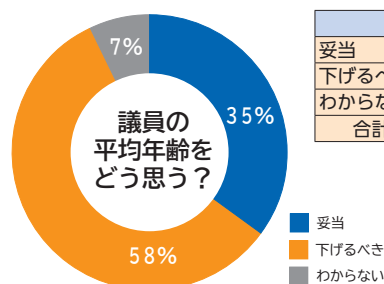
投票せずに町政について不満を言うことはできない。自分の町の未来を託す大切な機会。

「町政や議員選びへの関心」

町政を監視してくれる議員を選びたい。町政に参加したい。同世代の議員を増やしたい。

「投票しやすい環境を」

投票所まで行けない人への対応。年代や生活状況によらない投票環境を。



	平均年齢
妥当	31
下げるべき	52
わからない	6
合計	89



野辺地町議選 議員の平均年齢68.3歳

県の町村議会の平均65.8歳（令和7年7月時点）

全国の町村議会の平均64.9歳（令和7年7月時点）

「多様な世代が参加する議会」

現役世代の意見を議会に反映を。若者にも議会を担ってほしい。若い議員の意見も取り入れて。

「議員の責任と活動の見える化」

積極的に発言を。活動の公表を。定年制の導入を検討。

「若者や現役世代が立候補しやすい環境づくり」

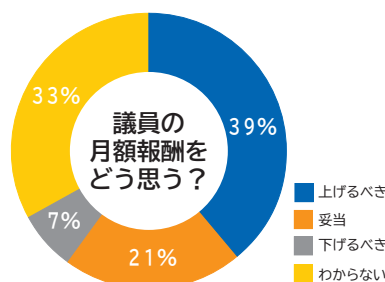
現役世代は生活や収入面の不安があり、立候補が現実的に難しい。仕事や家庭と議員活動を両立できる仕組みが必要。



野辺地町議選 月額22万8000円

県の町村議会の平均222,597円（令和7年7月時点）

最大252,000円 最小182,400円



	議員報酬
上げるべき	42
妥当	23
下げるべき	7
わからない	36
合計	108

「議員活動の見える化と報酬の妥当性」

活動が見えないので報酬を評価できない。報酬よりも活動量を重視。

「多様な人材が立候補できる報酬環境」

現役世代には低い水準。大卒初任給程度が必要。

「議員定数・報酬の在り方を一体的に検討」

定数を減らし報酬を引き上げては。議員によって活動に差がある。働く議員は高く、そうでない議員は低く。一律の報酬ではなく、活動や役割をどう評価するか。

投票率が低下傾向にある中、来年の町議会議員一般選挙を控え、町民の町政参画に対する意識調査を行いました。

調査を通じて、幅広い世代が参加でき、議員活動が町民に見える、責任ある議会の実現が求められていることが分かりました。そのためには、議員の活動内容を分かりやすく公表するとともに、若者や現役世代が立候補しやすい環境を整えることが重要です。町民と議会がともに挑戦し、野辺地町の未来を切り開いていきます。

のぞいてみよう！ 議場の中

議会は、ここで開かれています



- ①議長席 … 議事進行を行う
- ②議員席 … 議案の審議や一般質問を行う
- ③執行部席 … 町長などが出席し説明等を行う

「ここで何をしているの？」

町のルール（条例）をつくる
町のお金をどのように使うか計画（予算）を決める
町の仕事を調査・検査する



入場すると傍聴席へ

「どなたでも傍聴できます」
町の課題や決め事がどのよう
に話し合われているのか、
ぜひ議場をご覧ください！



防災教育センター
の建設を！

とある声なき声

(20代女性)

最近ではさまざまな災害が頻発していますが、実際にどのように行動すればよいか分からない方も多いと思います。誰もが気軽に防災について学べる施設があればうれしいです。



12月定例会の予定

12月 9日（水）提案理由説明

12月10日（木）一般質問

12月11日（金）議案等審議

いずれも午前9時30分からです。
日程は変更になる場合があります。

読者アンケート

議会だよりについて、皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。よりよい紙面をつくるためにアンケートにご協力をお願いします。



アンケート
フォーム

編集後記

いつも議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。今回の議会だよりはいかがでしたでしょうか？

今号では、令和7年度決算について、各議員がどのように評価したのかを特集しました。議員それぞれの考えや町政への視点をご覧いただける内容となっています。

広報委員会では、議会の動きや議員の考えが皆さまに伝わるよう、工夫を凝らした紙面づくりに努めています。これからも、より読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指してまいります。ご意見やご感想をお寄せください。

(赤垣)

広報委員会

委員長 横浜 睦成
副委員長 大湊 敏行
委員 木戸 忠勝
村中 玲子
五十嵐 勝弘
赤垣 義憲